

漢籍知識庫の構築と国際共同運用への試み 報告書

センター機関推進プロジェクト

平成 24 年 3 月 3 1 日

責任者 丘山 新

平成 23 年度は、計画に従って、以下のような成果を挙げた。

1) 東洋文化研究所所蔵漢籍 画像書影遡及撮影及びスキャン作業

これまで行ってきた漢籍善本の画像データベースの遡及入力を下記のように行った。

『曲録』（倉石 41767） 5 2 0 頁

『曲苑』（倉石 41776） 1 3 0 0 頁

『礼記正義』（経部-禮-禮記-3） 7 4 2 1 面

『儀礼経伝通解』（貴重 9） 4 2 6 1 面

（既に低精細白黒画像を公開済みだが、新たに高精細カラー画像を撮影）

『儀礼経伝通解』（貴重 83） 5 7 面

（既に低精細白黒画像を公開済みだが、新たに高精細カラー画像を撮影）

『周易正義』（経部-易-4.3） 2 7 0 面

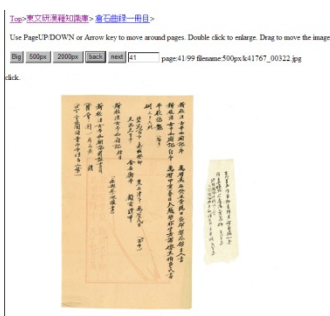
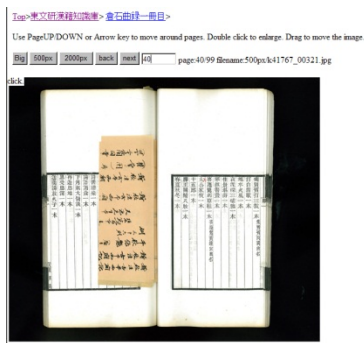
『京師図書館善本書目』（倉石 20559） 8 4 0 面

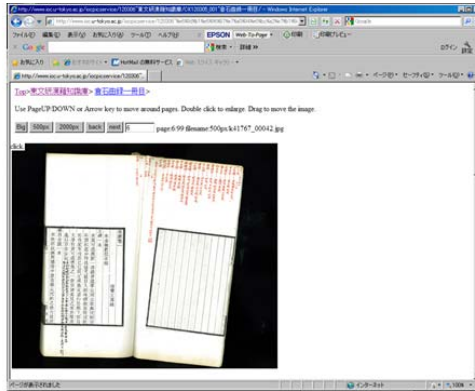
2) 東洋文化研究所所蔵漢籍 目録の継続整備と機能拡張（漢籍知識庫としての機能性の拡張）（この項目は、廣田准教授の支援による）

漢籍撮影書影を、図書事務室と写真室より、漢籍保管用サーバへ追加して保管、保管公開画像リストへの追加入力を容易にすることができるようになった。また、公開用サーバに追加するだけで自動的に保管用の大きな画像から、小さい公開用画像を生成する機能を作成。（漢籍目録から、リンクを貼る必要がある）

このことにより、量や質に関わらず、外注、内部作業によって得られた画像を、図書と写真室から保存公開できるようになる。

現在、一部工事中（保管画像リストへの容易な追加ができるようにすること、従来の保管画像の整理整頓）





- 3) 北京市中国国家図書館や北京大学歴史系などと、漢籍に関する今後の具体的協力作業を検討し、現在、本年度は以下のようにした結果、中国大陸でも検索速度が大幅に改善された。



(北京図書館ウェブページ上の東文研漢籍善本全文画像データベース)

<http://res4.nlc.gov.cn/home/index.trr?channelid=629>

⇒2012年7月発行『明日の東洋学』No. 27号中、東文研元准教授、橋本秀美氏（現在北京大教授）による報告

4) 「四庫全書綜目提要」のためのテキスト化完了

5) 叢書類の子目の入力

a) 経部、史部まで入力完了し、子部の入力中。

⇒これにより、叢書類を簡単に検索できるようになり、しかも、原本をより安全に保管することができるようになった。